

実施期間の終了迫る！

平成 25 年度
岡崎市国保加入者用

今年の特特定健診はお済ですか？

特定健診は、生活習慣病を早い段階で見つける健診です。
知らないうちに病気が重症化すると、その治療のために多くの
費用や時間を費やすことになったり、合併症により今まで通りの
生活が送れなくなることもあります。一年に一度は健診を！

特定健診へ
行って
ください！



↓↓「時間」も「お金」もかけずに済ませたいあなたには、この方法↓↓

集団特定健診＜健診センター型＞

予約制

【対象者】30歳から64歳（平成26年3月31日現在）の岡崎市国保加入者

【実施時期】平成25年6月17日から平成26年2月28日までのうち、
月～土曜日の午前または午後（詳しい時間は予約時に要確認）

【実施場所】岡崎市医師会はるさき健診センター（岡崎市針崎町字春咲1番地3）

【受診方法】希望日の2週間前までに電話で予約してください

◎予約先：岡崎市医師会はるさき健診センター ☎0120-489-545

無料

◆希望の多い土曜日も受診できます！

◆予約制のため、受診はスムーズ！

↓↓都合のいい会場で気軽に済ませたいあなたには、この方法↓↓

集団特定健診＜市内巡回型＞

予約不要

【対象者】30歳から64歳（平成26年3月31日現在）の岡崎市国保加入者

【実施時期】平成25年7月3日から10月24日までのうち、32日間
午前・午後・夜間のいずれか（日程により実施時間は異なります）

【実施場所】市内の12会場

【受診方法】予約は不要です。日程表で健診実施日を確認のうえ、直接会場へお越しください

無料

◆一部日程では、土・日曜日、夜間も実施します！

※集団特定健診＜健診センター型＞＜市内巡回型＞の受診には、保険証と受診票が必要です。

対象のかたには、5月末頃、受診票をお送りしていますが、お手元がない場合は、
国保年金課管理班（電話 23-6275）までご連絡ください。

※受診にあたり、健診実施日などの詳細を受診票と同封の案内でご確認のうえ受診してください。

※岡崎市国民健康保険からその他の保険証へ変更されたかたは、健診を受診できません。

お問合せ先

岡崎市役所 国保年金課 管理班 ☎23-6275

まとめて詳しい検査をしたいというあなたには、「人間ドック健診」…裏面へ→

↓↓一度にまとめて詳しい検査をしたいというあなたには、この方法↓↓

人間ドック健診

有料

【対象者】30歳（平成26年3月31日現在）以上の岡崎市国保加入者

【実施時期】平成25年4月から平成26年3月

【実施場所】岡崎市医師会はるさき健診センター

【受診方法】平成25年10月31日までに国保年金課へ申込み

【検査項目】特定健診、胃・肺・大腸がん検診、腹部超音波検査、心電図、眼底検査、眼科検査、聴力検査、肺機能検査、血液検査、前立腺がん検査（男性）、骨密度検査（女性）など

【自己負担】30～39歳：14,000円 40～64歳：12,000円 65歳以上 9,300円

申込み必要

ミニドック健診

有料

【対象者】30歳（平成26年3月31日現在）以上の岡崎市国保加入者

【実施時期】平成25年6月から平成26年2月

【実施場所】岡崎市医師会公衆衛生センター

【受診方法】平成25年10月31日までに国保年金課へ申込み

【検査項目】特定健診、胃・肺・大腸がん検診、腹部超音波検査、心電図、眼底検査、貧血検査

【自己負担】30～39歳：8,000円 40歳以上：6,000円

申込み必要

↓↓無料の健診を希望する65歳以上のかたには、この方法↓↓

個別特定健診

無料

【対象者】65歳（平成26年3月31日現在）以上の岡崎市国保加入者

【実施時期】平成25年6月から10月31日まで（休診日を除く）

【実施場所】市内の協力医療機関

【受診方法】受診票と保険証を持参のうえ、直接協力医療機関へお出かけください。

受診票がお手元がない場合は、国保年金課管理班（電話 23-6275）まで。

★お近くの医療機関で、あなたの都合のいいときに受診できます。

（ただし、医療機関の診療時間内に限ります）

～特定健診で実施する健診項目～

生活習慣病のリスクに着目した健診項目になっています

◎必須項目

問診・身体計測（身長・体重・腹囲・BMI）・身体診察・血圧測定・尿検査（尿糖・尿蛋白）・血液検査（中性脂肪・HDL コレステロール・LDL コレステロール・空腹時血糖・HbA1c・GOT・GPT・γ-GTP・血清クレアチニン）

◎詳細な健診項目（一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施）

心電図検査・眼底検査・貧血検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値）

健診結果から、生活習慣病の発症リスクが高いと判断された40～74歳の方には、特定保健指導を実施します。この機会に生活習慣を見直し、発症のリスクを減らしましょう。

